

名古屋造形大学の活動／2024 年 6 月～2025 年 5 月

各種受賞（一部抜粋）

< 学生 >

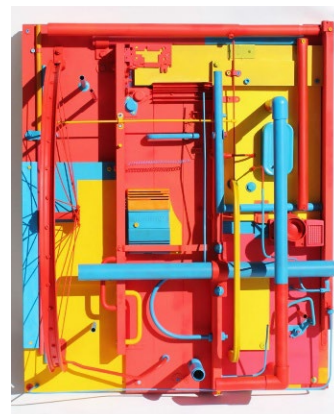
◆「Liquitex THE CHALLENGE 2024」にて「色部義昭賞」を受賞

美術表現領域・3 年

小出悟さん

作品名「一抹の悪意を携えた構成」

(727mm×606mm)



◆「技育博 2024」にて企業賞 3 つを受賞

(株式会社ディー・エヌ・エー 様 / 株式会社ゆめみ 様 / 株式会社 CARTA HOLDINGS 様)

情報表現領域・1 年・安藤澄人さん

作品名「fookeys」フードロスに着目した 1 対 1 のブラウザ対戦カードゲーム

(実際に右の QR コードから体験していただけます、是非プレイしてみてください)



◆上田市日本遺産短編小説書籍化「表紙絵・挿絵イラスト」コンテストにて 6 名が入選

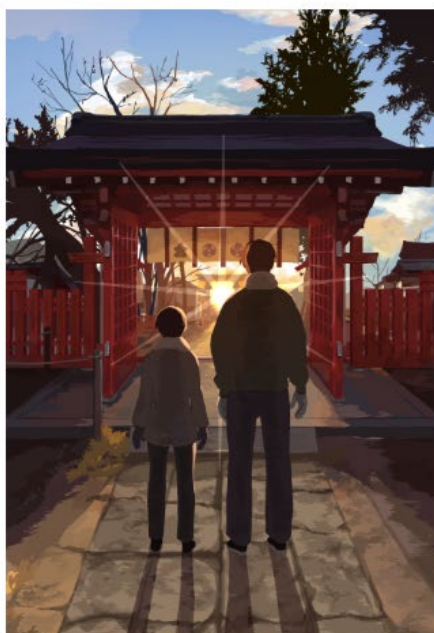
視覚表現領域 1 年生選択授業「デザインとイラストレーション」で、上田市日本遺産推進協議会主催の上田市日本遺産短編小説書籍化「表紙絵・挿絵イラスト」コンテストに挑戦し、履修者 26 名のうち 3 名を優秀賞、3 名を佳作に選定いただきました。

優秀賞

(佳作：澁谷美緒さん／相羽ほおずきさん／後藤総壱郎さん)



ぬくいしげお



吉田未来



永島咲花

◆「第 14 回 躍動する現代作家展」にて入選

美術表現領域・3 年・宮川幸音さん・作品名「Twenty」

◆一宮市美術展にて 2 名が入選

美術表現領域

奨励賞 岡崎 有紗さん 作品名「遊覧」

入 選 大竹 絵未里さん 作品名「POTATO BOY」

◆愛知県大学対抗ハッカソン「HackAichi+2024」にて

最優秀賞（愛知県知事賞）と企業賞（日本ガイシ株式会社）を受賞

情報表現領域・1 年・安藤澄人さん

混合 C チーム（愛知工業大学・名古屋学芸大学・本学）として参加し、企画・デザイン・動画を担当。

提案内容：市民と企業をつなぎ合わせるサービス「WAKABA（ワカバ）」

企業がイメージしやすくなるように意見の情報から画像を生成していたり、アプリの動作イメージを動画で見れるようにしていたりと、わかりやすいアプリ計画とスライドで発表が評価されました

<産学官連携グループ>

◆農林水産省第 11 回「ディスカバー農山漁村の宝」全国優良事例 30 地区に選定

八百津町／デザインプロジェクト「八百津町訪問・農泊推進リーフレット作成」／東仲教授

八百津町／森と木の活用プロジェクト「インテリア木工雑貨ワークショップ」／溝口教授

で大学が協同している「80%山のまちを元気にする協議会」が農林水産省による第 11 回「ディスカバー農山漁村の宝」全国優良事例 30 地区に選定

<教員>

◆2025 年日本建築学会作品選集新人賞

「岐阜のいちご作業所・直売所・遊び場」

地域社会圏（地域建築）領域

准教授・伊藤維



◆「Ikebukuro Living Loop」

2024 年グッドデザイン賞 ベスト 100 & グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン]

伊藤維准教授／ストリートファニチャーのデザイン

名古屋造形大学大学院伊藤維ゼミ：

STREET KIOSK（デザインを担当）

（受賞企業：株式会社 nest / 株式会社サンシャインシティ /
株式会社良品計画 / 株式会社 GRIP SECOND / 豊島区）



◆2024 年グッドデザイン賞 岐阜の冷凍自動倉庫

地域社会圏（地域建築）領域・准教授・伊藤維

< 卒業生 >

◆第 20 回アジア競技大会（2026 年／愛知・名古屋）

マスコットキャラクターに採用

視覚伝達デザインコース（現：視覚表現領域）

1996 年卒業生（現在、非常勤講師）

中川義千（よしゆき）さん



メディア掲載

◆テレビ朝日 バズリズム 02（2025 年 5 月 23 日（金）毎週金曜日／24:59～25:59）

温泉紹介のコーナーにて、兵庫県三田市「三田天然温泉 寿ノ湯」がピックアップされました。ここは情報表現領域・外山ゼミがプロジェクションマッピング演出を産学連携として納品していることから、本学も合わせて紹介いただきました。

◆メーテレ まちイチ nice to people（2025 年 4 月 14 日 毎週月曜日／朝 9:55～10:25）

タレントの「なすなかにし」さんと C B C アナウンサーが人々と触れ合いながらお店を訪ね、その街の魅力を学んだり、伝えたりする番組です。「北区」特集でオープニングの IG アリーナから柳原通商店街に向かう途中で本学へ立ち寄られました。（オープニング映像）

◆CBC テレビ キュレーター・木村絵理子の活動に密着！【ドキュメンタリー・E】

現代アートドキュメンタリーとして、現代アート界の巨匠・奈良美智や蜷川実花が認めるキュレーター・木村絵理子さんの活動に密着する撮影の一環で、2月に実施した愛知県美術館での卒業制作展取材いただきました。

◆「新桑名市誕生 20 周年記念ポスター」の表彰式（中日新聞①）

情報表現領域・足立ゼミの学生たちが取り組んだプロジェクトです。

◆平野美術館での展覧会「日本画の極みを求めてー未来を担う東海の作家たちー」について インタビュー掲載（中日新聞②）

美術表現領域 特任講師の梶野靖代先生・非常勤講師の鈴木葉留香先生のインタビュー
展覧会には、美術表現領域・濱田樹里教授をはじめ、卒業生も参加しました。

◆映像文学領域（現 視覚表現領域）そうだなちさんの活動紹介（中日新聞③）

3年生そうだなちさん（ペンネーム）のエッセー漫画の活動、西区のコメダ珈琲（西名古屋店）での展覧会＆イベントの様子を紹介していただきました。

◆デラウマバーガー（名古屋城金シャチ横丁店）とのコラボ企画「デラウマフェス」掲載（中日新聞④）

コラボ商品は学内での販売だけでなく、

6月25日～7月28日に

「デラウマバーガー名古屋城金シャチ横丁店」

にて実際の販売も行われました。

さらに NHK 名古屋まるっと！

（7月1日（月）18:10～放送）

にてデラウマフェスが紹介されました！

「名古屋造形大生がコラボ商品開発！個性派バーガー」



最新の NEWS①

◆大阪・関西万博関係

空間作法領域 新森雄大准教授（2025 年度新任、インテリアデザイン分野）

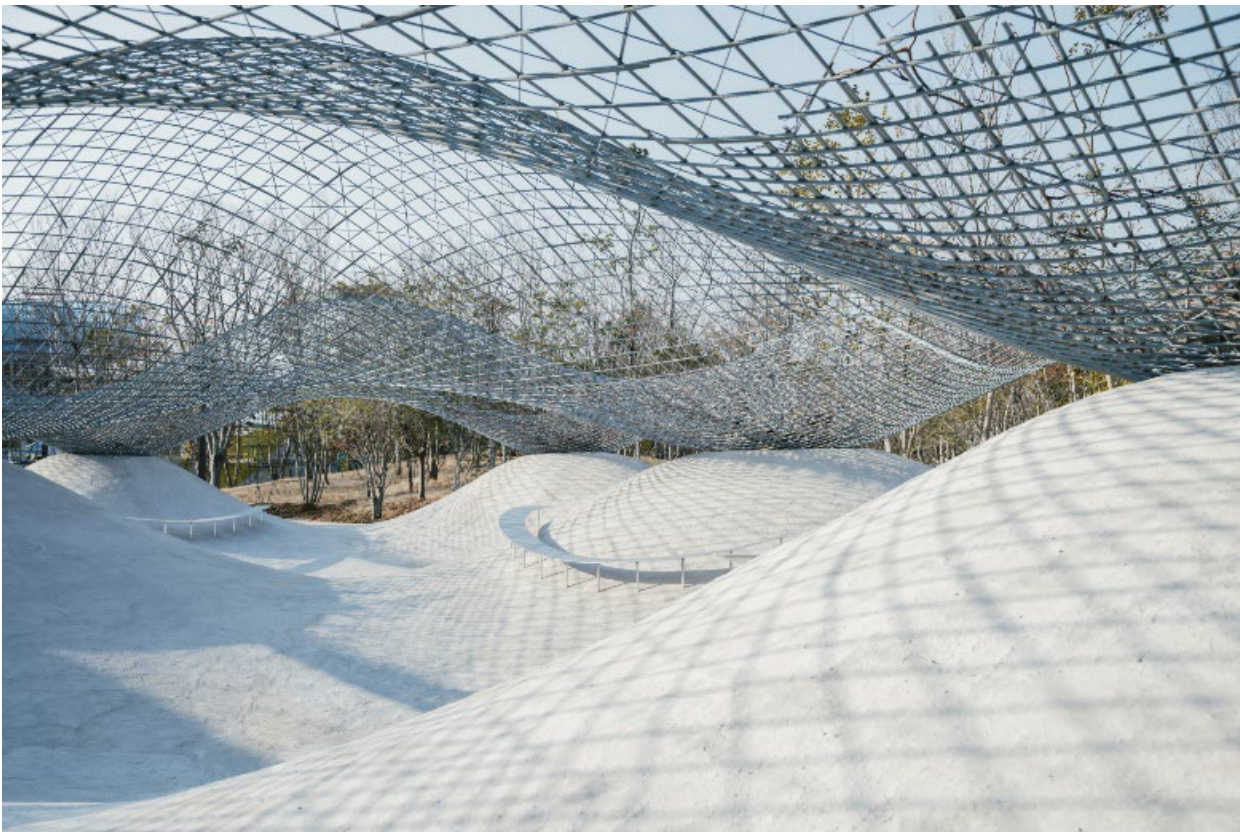
が設計に携わった「earth/roof」が会場内で「休憩所 4」として公開されています。

大阪・関西万博へ行かれる際には、是非、ご利用ください。

<設計コンセプト>

私たち人間が築き上げてきた世界は、目覚ましい進歩と引き換えに時に不自然な断絶を生み出し、「向こう側のいのち」への想像力を弱めてきたかもしれません。「多様さからうまれる、かけがえのないひとつの世界」を守り、さらなる未来へと発展していくために、こちらとあちらの断絶を弱めていき、共に生きる感覚をいま一度思い起こすことは重要だと考えます。

本計画は、敷地要件による土の掘削、それを型枠にした鉄筋のパーゴラ屋根でつくられる、半年のあいだ現れる「多様な他者と共にある広場」です。



<施設概要>

設計者：服部 大祐 + 新森 雄大 | 一級建築士事務所 Schenk Hattori + Niimori Jamison

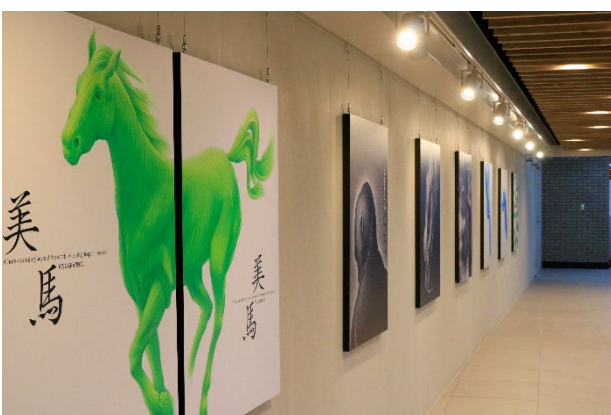
主用途：休憩所、トイレ（階数：地上 1 階 + 地階 1、延床面積：248.84 m²、構造：鉄骨造）

参照元：EXPO 2025 大阪・関西万博公式 Web サイトより

最新の NEWS②

◆名城公園駅リニューアルに伴い 親子の休憩スペース「Komorebi（こもれび）」がお披露目

このスペースは、地下鉄を乗り降りし周辺の地域との間を行き来する親子が、ひととき休憩できる空間にしようという名古屋市交通局の計画を受け、本学・空間作法領域の溝口周子教授、鈴木光太教授の指導によるプロジェクトとして、同領域の学生たちが4つのチームで空間のプランニングと家具などのデザインに取り組みました。そして、「Komorebi（こもれび）」をテーマに名城公園の豊かな木々やその緑がしみ出てきたような空間と親子で並んで座れるベンチのプランが採用され、実際に制作され、実際に利用が始まりました。



お帰りの際に、是非、ご覧ください